

2004 年 1 月 14 日

2 桁の伸びー世界に広がる遺伝子組み換え作物(要約)

フィリピン、マニラ発 (2004 年 1 月 13 日付)

7 年連続で世界の遺伝子組み換え作物の作付けが 2 桁の成長を続けている。国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) の発表では 2003 年の世界の作付面積が前年度より 15%伸び、6,770 万ヘクタールになった。

この増加の理由は、2003 年に初めて遺伝子組み換え大豆栽培が認可されたブラジルの栽培面積予測 300 万ヘクタールが加わったことが要因のひとつだ。ブラジルでの実際の栽培面積は更に大幅に増加する可能性もある。

報告書によると栽培農家は 2002 年の 16 カ国で 600 万戸から、18 カ国で 700 万戸に増加した。その 85%以上が開発途上国の農家であり、更に開発途上国における遺伝子組換え作物の栽培面積は、昨年と比べ世界の遺伝子組み換え栽培面積の 1/4 から 1/3 に増加している。

ISAAA 創設者、現会長のクライブ・ジェームス博士は「農家は、農業、経済、環境、社会的なメリットにより、急速に遺伝子組み換え作物を受け入れている。」と語った。

遺伝子組み換え大豆は世界的に栽培面積を増やし、13%増の 4,140 万ヘクタールで、世界の大豆総栽培面積の 55%になった。

遺伝子組み換えトウモロコシは新しい品種が次々と登場し、栽培面積は 25%増加し、世界で 1,550 万ヘクタール、トウモロコシ総栽培面積の 11%となった。フィリピンではアジアで最初の害虫抵抗性トウモロコシが 2 万ヘクタール栽培され始めた。

遺伝子組み換えカノーラは、全世界の作付面積の 16%にあたる 360 万ヘクタールとなり 20%上昇した。

遺伝子組み換えワタは約 6%増えて、720 万ヘクタール、世界のワタ総栽培面積の 21%となった。中国では害虫抵抗性ワタの栽培は 280 万ヘクタールに昇り、ワタ総栽培面積の 33%を占めている。インドの害虫抵抗性ワタは昨年と比べ 2 倍に増加し、10 万ヘクタールとなった。

「EU では議論が続いているが、遺伝子組み換え作物の広がりについて、多くの農家は 2004 年以降も栽培し続けるだろうとの肯定的な見方もある。」とジェームス博士は語った。

ISAAA は今後 5 年間で 25 カ国以上、1,000 万戸の農家が遺伝子組み換え作物を 1 億ヘクタール栽培すると予測している。更に遺伝子組み換え作物の世界市場は今年 45 億ドル上昇し、2005 年までには 50 億ドル以上になる見通し。

概要報告書 (ISAAA Briefs 30, by Clive James) は www.isaaa.org から入手可能。

###

国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) は、フィリピン、ケニア、米国にまたがる国際的ネットワークを持つ非営利団体です。同事業団の目的は、発展途上国における農業バイオテクノロジーの普及と安全性の確保です。ISAAA の創立者で現会長のクライブ・ジェームス氏は、過去 25 年にわたりアジア、ラテン・アメリカ、アフリカなどの発展途上国で生活、仕事をしてきました。彼は農業研究開発、グローバル食品、飼料の安全、農産物バイオテクノロジーの世界的権威です。

遺伝子組み換え作物国別栽培状況

国名	栽培面積 (ha)	対前年比	栽培作物	備考
米国	4,280 万	+10%	除草剤耐性大豆 害虫抵抗性トウモロコシ 他	世界の遺伝子組み換え作物の 63%
アルゼンチン	1,390 万	+3%	大豆 害虫抵抗性トウモロコシ	世界の遺伝子組み換え作物の 21% 大豆総栽培面積のほぼ 100%が遺伝子組み換え
カナダ	440 万	+26%	カノーラ トウモロコシ 除草剤耐性大豆	世界の遺伝子組み換え作物の 6%
ブラジル	300 万	‘03 年作付け認可	大豆	世界の遺伝子組み換え作物の 4%
中国	280 万	+33%	ワタ	世界の遺伝子組み換え作物の 4% 国内ワタ総栽培面積の 58%
南アフリカ	約 40 万	+33%	トウモロコシ ワタ 大豆	世界の遺伝子組み換え作物の 1%
オーストラリア	約 10 万		ワタ	
インド	約 10 万	約 2 倍	害虫抵抗性ワタ	
ルーマニア	7 万	+50%	大豆	
ウルグアイ	6 万	3 倍	大豆	
		‘03 年商品化	害虫抵抗性トウモロコシ	
スペイン	約 3.2 万	+33%	害虫抵抗性トウモロコシ	
コロンビア	0.5 万		害虫抵抗性ワタ	
ホンジュラス	0.2 万		害虫抵抗性トウモロコシ	
メキシコ	2.5 万		害虫抵抗性ワタ	
	1.0 万		除草剤耐性大豆	
フィリピン	2 万	‘03 年作付け	害虫抵抗性トウモロコシ	アジア初の害虫抵抗性トウモロコシ作付け開始
インドネシア	小規模		害虫抵抗性ワタ	
ドイツ	小規模		害虫抵抗性トウモロコシ	
ブルガリア	小規模		除草剤耐性トウモロコシ	

注) 報告書にバイオテックと記載されているものは、単に作物名のみ記載